

第25回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

第25回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議  
議事録

日時；平成27年 10月 23日（金） 18：00～19：30

場所：大宮ソニックシティ 705会議室

出席者	座長	葉山 嘉一	日本大学生物資源科学部 准教授
	委員	池谷 奉文	公益財団法人日本生態系協会 会長
		勅使河原 彰	狭山丘陵の自然と文化財を考える連絡会議 前代表委員
事業者		上田 功	東日本高速道路株式会社 さいたま工事事務所長
		真田 晃宏	国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所長
事務局			大宮国道事務所

第25回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
開 会	<p>・定刻には少し早いのですが、皆様おそろいですので、これから第25回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議を開催させていただきたいと思えます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、御多忙の中御出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>私、本日の司会を務めさせていただきます、大宮国道事務所の調査課長の菊地と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の会議の議事についてですが、「平成27年繁殖期の調査結果」、「繁殖状況の整理」、「今後の調査方針（案）」、「調査地Lの保全対策等」について御審議させていただきたいと思っております。</p> <p>本日の会議ですが、18時から20時までということで、およそ2時間を予定してございます。</p> <p>本日、柳澤委員と鈴木委員の2名が御欠席となっております。そのお二方の委員からの御意見等については議題の進行の中で御説明させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>議事に入る前に、資料の確認をさせていただきます。まず資料の一番上にA4の何枚か、議事次第の後ろに座席表等がついているもの。その次に、A3判で会議資料①。会議資料②「繁殖状況の整理」。会議資料③「今後の調査方針（案）」。</p> <p>その次に、<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>からの意見ということで、A3・2枚のものがついております。その次に、会議資料④「調査地Lの保全対策等」。次に、参考資料として、①「調査地Hにおける猛禽類調査結果」。参考資料②として「調査地Gの遮蔽施設の整備状況」というものでございます。これが今日の資料でございます。不足等ございませぬか。平成27年1月～8月の全調査地点のオオタカの飛翔図を机の上に、分厚いものですが、置かせていただいております。</p> <p>それでは、議事次第に沿って進めさせていただきたいと思えます。</p> <p>ここからは葉山座長にお願いしたいと思います。</p> <p>お願いします。（事務局 菊地）</p> <p>・こんばんは。お疲れのところをお集まりいただきまして、恐縮です。ありがとうございます。早めに帰りたいので、御協力をよろしくお願ひします。</p>

項目	主な意見と回答
<p>議 事</p> <p>(1) 平成27年繁殖期の調査結果</p>	<p>今お話があったような4つの議事の内容で進めます。</p> <p>今日は残念ながら、お二人、柳澤委員と鈴木委員が御欠席なので、重要な決め事に関しては今日は決められないと思っておりますので、よろしく願いいたします。■■■■■</p> <p>・では、「平成27年繁殖期の調査結果」の御説明をお願いします。 ■■■■■</p> <p>・会議資料につきましては、各委員の皆様には事前説明させていただいております。説明に当たっては、事前に説明させていただいたところから変わっているところを主に説明させていただきたいと思っておりますので、御了承ください。</p> <p>それでは、会議資料①「平成27年繁殖期の調査結果」について説明させていただきます。説明は調査会社からさせていただきますので、お願いします。(事務局 菊地)</p> <p>(1) 平成27年繁殖期の調査結果の説明 (事務局 岩瀬)</p> <p>・ありがとうございます。 いかがでしょうか。■■■■■</p> <p>・事務局から、事前説明の際に柳澤委員と鈴木委員からいただいている意見を御紹介させていただきたいと思っております。 ■■■■■からは、調査地Aの繁殖失敗理由について、ノスリとの競合が考えられるという御意見でございました。</p> <p>もう一つ、平成27年繁殖期は、調査地B、C、D-Eを同一つがいが利用した可能性が考えられるという御意見をいただいております。</p> <p>それから、■■■■■からでございますが、調査地Lの営巣林は、周辺を耕作地等に囲まれており、巣立ち幼鳥が徐々に利用域を広げることが困難であるため、分散に時間を要した可能性があるという御意見をいただいております。</p>

項目	主な意見と回答
<p>(1) 平成27年繁殖期の調査結果</p>	<p>あと、参考資料①に調査地Hの猛禽類の調査結果をつけさせていただきます。この調査地Hは、荒川上流河川事務所で調査しているものをいただいてつけておりますが、その調査地Hの調査結果に対して、[ ]から調査地Hの平成27年繁殖期のオオタカとサシバの状況について情報をいただいております、資料の中ではその情報をいただいたもので更新しておりますが、オオタカの巣立ち幼鳥が3羽であったということと、サシバの下流のペアの巣立ちが3羽、チョウゲンボウの巣立ちが4羽ということで、[ ]からの情報を踏まえた格好でこの資料はつくらせていただいております。この[ ]の情報につきましては荒川上流河川事務所にも伝えております。</p> <p>以上です。(事務局 菊地)</p> <p>・ありがとうございます。</p> <p>今までの御説明でお気づきの点とか疑問点がございましたら、お願いいたします。[ ]</p> <p>・平成27年は繁殖失敗が非常に多いのですけれども、先ほど[ ]からも調査地Aについてはノスリと競合した可能性があるということで、ほかにも、調査地Fは昨年度フクロウとか、調査地Lは今年フクロウというようなことがあって、ほかの猛禽類との関係でオオタカの繁殖が失敗しているということはないのかどうか、そのあたりを調査しているところから詳しく報告してもらえれば。[ ]</p> <p>・調査を担当しております生態系保護協会です。</p> <p>今、[ ]からございました繁殖失敗との兼ね合いについてですけれども、事前説明のときにもそういったお話が出たものですから、今日はそれに関する資料を急遽持ってきました。</p> <p>先ほどお話がありましたノスリとの関係とか、あるいは去年はFでフクロウとの関係ということで、必ずしも自然環境そのもの改変とか悪化ということではない猛禽類の繁殖に及ぼす影響、ということが最近はC C Dカメラとか光学機器の発達で大分わかってきました。今お手元にお配りしました野鳥の専門誌の『BIRDER』というものの今月号を見ていたら、ちょうどこういう記事が出ていまし</p>

項目	主な意見と回答
<p>(1) 平成27年繁殖期の調査結果</p>	<p>て、埼玉圏央道では調査地Aでノスリとの兼ね合いが何年か前から明らかになっていますけれども、どうも全国的な潮流のようで、ここにありますが、ノスリが来るとオオタカが営巣を放棄する、あるいはほかに繁殖地が移る、というようなことがままあるようです。</p> <p>それと、FとかL、圏央道のほうではフクロウとの関係だったのですけれども、先月、兵庫県立大学で日本鳥学会がありまして、参加したのですけれども、新潟平野のクロマツ林でのオオタカとフクロウの関係についての報告がありました。やはりフクロウが入ってきて、オオタカの繁殖に影響が出たということです。</p> <p>基本的に、オオタカとノスリとフクロウというのは身体能力としては同じような大きさの猛禽類で、必ずしもオオタカが劣位になるということではないのですけれども、ノスリとかフクロウは繁殖期がオオタカよりも若干早くて、オオタカが今まで繁殖していた巣に繁殖期の早いノスリとフクロウが造巣する、あるいは産卵すると、どうしても執着心が強くなるものですから、オオタカが追い出されるということのようです。従来そういった猛禽類の種間関係と繁殖の優劣の関係はよくわかっていなかったのですけれども、そういったことが最近はこちらで注目されてきているものですから、圏央道についてもそういったことの一例なのかなと。</p> <p>さらに圏央道との兼ね合いについては、例えば工事中のLとかGでことし繁殖に成功している、あるいは営巣している場所については「工事監視モニタリング」で影響を把握しているものですから、必ずしも圏央道の工事あるいは供用がオオタカに影響を与えて失敗したということではないと。その辺は月1回の調査では原因が不特定のところがありますし、長く見ないとわからないところがあると思うのですけれども、そんなことを感じています。(事務局 須永)</p> <p>・ どうもありがとうございます。          いかがでしょうか。■■■■■</p> <p>・ 調査のときにも少し意識してもらえれば。せっかく環境対策をやって、結果として失敗が多いように見られると残念なので。■■■■■          ■■■■■</p>

項目	主な意見と回答
<p>(1) 平成27年繁殖期の調査結果</p>	<p>・種間関係ですので、人が手出ししていいことなのかどうか、その辺も含めて見守っていきたいと思います。</p> <p>神奈川県でも、今から10年以上前でしょうか、私がフィールドにしているところでノスリが入り込んでオオタカがやめてしまった。かなり距離をあけて別のところに定着しましたけれども、そういう事例もあったわけです。ここにも書いていますし、Aもそうでしたけれども、同時に繁殖に成功したのもあるので、なかなか簡単には結論は下せないと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。■■■■■</p> <p>・逆に、調査地L、よくこの工事でガタガタしているところで繁殖が成功している。これは何が理由ですか。我々からすれば、こここそダメだろうと思ったのですけれども。■■■■■</p> <p>・そうですね。</p> <p>調査をされている中で、お考えはありますか。■■■■■</p> <p>・それこそ、この検討会議でいろいろな対策を検討していただいて、それを講じて、しかもLについては、後で話があるのかもしれないですけれども、圏央道は10月末に開通ということの中で、直前で工事をとめて一番デリケートなときに工事をやっていなかったということもありますので、そういった対策の成果・効果でうまくいっているのではないかなと、調査をやっていて思っております。(事務局 須永)</p> <p>・調査地Aの経年的な成功・不成功を見ると、数年+αぐらいで失敗が起こります。そういうことも頭に置くと、Lは比較的最近になって繁殖が始まったということも考えると、繁殖に対してかなり元気のいいといいますか、繁殖が上手で、しかもエネルギーな個体が入ってきて、しばらく続くのかなというような気もするのです。ですから、あと何年か見ていくとその辺が見えるかもしれないと思います。</p> <p>確かに、■■■■■がおっしゃるように、幼鳥の分散に関しては、樹林自体が狭いということで影響があったのかもしれないと私も</p>

項目	主な意見と回答
<p>(2) 繁殖状況の整理</p>	<p>思います。</p> <p>獣医学的に見て、繁殖適期がどのぐらい続くかというのはわかりますか。[REDACTED]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それはわかりません。[REDACTED]</li> <li>・飼育個体はわかりますけれども、屋外でというのはなかなか難しいですね。[REDACTED]</li> <li>・難しいですね。[REDACTED]</li> <li>・ほかにはよろしいでしょうか。いろいろ喋っていると、推察の域を出ない話になってしまうので。</li> </ul> <p>では、欠席のお二人もこの内容を了解されたと同っていますので、ありがとうございました。[REDACTED]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、次に「繁殖状況の整理」ですか。よろしくお願いします。[REDACTED]</li> </ul> <p>(2) 繁殖状況の整理 (事務局 岩瀬)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。[REDACTED]</li> <li>・事務局から、先ほどと同様に、柳澤委員と鈴木委員からの事前説明の際の御意見を紹介させていただきます。</li> </ul> <p>[REDACTED]からは、近年、他の事例でも開通後のオオタカの繁殖成績が悪いという結果が見られるということで、その要因として、開通に伴って工事の立ち入り制限がなくなったことで営巣林への人の出入りが増加している可能性が考えられるという御意見でございました。</p> <p>[REDACTED]からは、調査地Hで、工事中はオオタカが上流の営巣地に移動した、しかし開通後は路線近くに帰ってきている、そのため、保全対策を考える上では、工事中は工事箇所から営巣地を一時的に遠方に誘導して、開通後に帰ってきてもらうように検討するというようなことも重要だという御意見をいただいております。</p>

項目	主な意見と回答
<p>(2) 繁殖状況の整理</p>	<p>以上でございます。(事務局 菊地)</p> <p>・ありがとうございます。</p> <p>今の■■■■の御指摘ですけれども、何かその辺の裏づけになるようなデータはありますか。開通後に立ち入り制限区域がフリーになったために人の出入りが多くなったというような。その辺はあるのですか。■■■■</p> <p>・調査を担当しております埼玉県生態系保護協会の湯川です。</p> <p>今の御質問ですけれども、具体的にこれというような証拠、データ等は得られておりません。(事務局 湯川)</p> <p>・工事用の囲いが取れて、フリーに人が入れるという場所がふえますか。■■■■</p> <p>・多分ないです。これまではなかったと思います。(事務局 湯川)</p> <p>・いかがでしょうか。今まで貴重なデータの蓄積があったので、それをできるだけ今後に活かしていくということで、幾つかの視点で整理をしていただいていますけれども、まだまだ蓄積して行って、読めるところと読めないところと当然出てくると思うのですけれども。■■■■</p> <p>・これはかなり重要なデータだと思います。工事前はこれぐらいの数がいて、工事中に減るといのはわかるじゃないですか。終わってからもっと減ってしまうといのはかなり重大なことで、相当の大きな要因があるのだらうと思います。だから、これからフォローアップの調査をきちんとやる必要があると思います。工事は終わってしまっているのだから、本来ならふえなければいけないですね。■■■■</p> <p>・一般論的に言えば、営巣している営巣林を中心とした環境がどうなっているかということと、採食環境としての周りの環境がどの程度維持できているかという2つの側面が関係している話ですね。■■■■</p>



項目	主な意見と回答
(2) 繁殖状況の整理	<p>・高速道路をつくったということは、生態系を二分しますよね。そういうことの影響がある可能性もありますね。[REDACTED]</p> <p>・今の[REDACTED]の御意見を勘案すると、一度工事前と現在の土地利用の状況を比較してみることも必要かと思えます。[REDACTED]</p> <p>・土地利用の面積は、工事前、工事中、開通後と、会議資料②の表の中で一昨年から集計を試みさせていただいております。今後も更新していくような形で確認していきたいと考えております。(事務局 川崎)</p> <p>・面積を合計で出すのではなくて、高速道路で分断したことによって採餌環境とか生息環境が変わるじゃないですか。そのところをきちんと調査してもらいたいと思います。[REDACTED]</p> <p>・樹林がまとまりとしてどれぐらいの規模あるのか。(事務局 川崎)</p> <p>・樹林と採餌環境がありますよね。[REDACTED]</p> <p>・樹林を分断されたことによってまとまった樹林の面積が減るというのもありますし、座長からも御意見がありましたとおり、採餌環境としての土地利用という観点もありますので、整理方法についてはまた御相談させていただき、検討してまいります。(事務局 川崎)</p> <p>・例えば高速道路を車がびゅんびゅん走るわけじゃないですか。そういうことによって餌となる小鳥が警戒し採餌環境が変わって巣立ち雛数が下がってしまうということもあり得る話じゃないですか。それはよく言われることだからね。生息環境を二分することは大変なことで、道路面積としては少ないけれども、生態系を二分してしまうということの意味は非常に大きいという話がよくあるのです。そういうことなのかなという感じもしなくはない。そうすると、例えば高速道路の上にふたかけをしてもらおうと、またもとへ返るとか、そういうことがあるのかもしれないですね。[REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
(2) 繁殖状況の整理	<p>今のお話ですと、まず第一段階として、土地利用のトータル面積の変化が全くない場所、少しある場所、やや多めにある場所というような分け方はできますよね。その状況を突き合わせてみると、傾向があるかないかということが出てくると思います。■■■■■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トータル面積というのは、今、表に整理しているのがトータル面積に該当すると思うのですが、その増減状況と巣立ち雛数との関係を整理してみて、段階的に確認していくような形で。(事務局 川崎)</li> <li>・そうですね。■■■■■</li> <li>・わかりました。(事務局 川崎)</li> <li>・ほかにはいかがでしょうか。 少し気になったのは、先ほど話が出たものと関連して、1ページ、2ページ、3ページ、4ページまでですか、この中に確実に個体が入れかわっているというような情報を1つ入れると、見える部分があるのではないかと思います。一方が死亡したとか、そういうのがありましたよね。■■■■■</li> <li>・調査地Bとかで死亡が明らかな事例はありましたし、ペアの片方に若い個体が入ったというような記録の整理はありますので、わかる範囲で整理をつけ加えさせていただきたいと思います。(事務局 川崎)</li> <li>・そうしていただくと、より見えてくる部分が多くなる可能性があります。■■■■■ ■■■■■はいかがでしょうか。■■■■■</li> <li>・結構です。■■■■■</li> <li>・では、この内容については欠席のお二人の御意見も含めて理解したということにいたします。■■■■■</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 今後の調査方針 (案)</p>	<p>・では、3番目の「今後の調査方針 (案)」の御説明をお願いします。  <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span></p> <p>(3) 今後の調査方針 (案) (事務局 菊地)</p> <p>・ありがとうございます。          これに関しては<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>から直近で御意見が出たのですね。<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>  <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span></p> <p>はい。<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>からの御意見ということで、別添で2枚ほど、A3横のものをつけさせていただいております。</p> <p>事前説明の際には今説明させていただいた資料で説明させていただいて、御了解をいただいております。それに対しまして、昨日、<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>からファクスでこういった意見を追加の意見としていただいております。</p> <p><span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>からのファクスなので、読み上げて説明させていただきますと、「今後の方針について」ということで、まず(1)の「生息状況調査」です。</p> <p>「調査期間は1月～2月、5月～12月(各月1回)とありますが、調査期間は1月～8月に実施とすべきです。</p> <p>供用後の調査は、当初実施した調査と同一の密度で行うことが望まれます。それによって行動圏といった動き回る様子の結果を得ることが可能です。費用の点などで簡略的な調査にしたい場合も、繁殖期の行動圏が結果として確保できるよう努力すべきと思われます。</p> <p>さらに9月～12月は、この調査は必要ないと思われます。</p> <p>理由としては、非繁殖期であるため、その付近には番の内雄しかいない時期であり、標識などで個体が特定できる場合ならば意味もありますが、当該巣で繁殖した雄か他の雄なのかを明確に区別できない状況での行動圏の調査では、結果が明らかにならぬことも多く、意味がないものと思われます。</p> <p>繁殖期・繁殖前期ならば雌雄が活動しており、行動圏の把握も容易ですから、9月～12月の調査分は、3月～6月の造巢期・抱卵期・育雛期の状況をより詳しく知るために使用することが必要であり、大切と思われます」と。</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 今後の調査方針 (案)</p>	<p>(2)の「営巣地確認調査」に対しましては、「調査期間は3月及び4月(各月1回)ではなく、繁殖地の位置を決める時期、造巢の時期ではなく、4月下旬、5月、6月、7月に行い、人の影響を受けても造巢・繁殖放棄などを行わないであろう時期に変更した方がよいと思われます」というのが[ ]からの御意見でございました。</p> <p>要約しますと、生息調査については1月～8月に実施すべきだということ、9月～12月は必要ないという御意見で、9月～12月の分は3月～6月の分に使用すればよいのではないかと。営巣地の確認調査については、3月、4月の繁殖地の位置を決める時期ではなく、4月下旬、5月、6月、7月に行って、人の影響を受けても繁殖放棄を行わない時期に変更したほうがよいという御意見でございました。</p> <p>今回、会議資料③ということで事務局から提案させていただいているものについては、埼玉県のオオタカ等保護指針を踏まえて設定しているものでございます。生息状況調査については、営巣地の確認調査を実施する3月、4月を除き、年間を通じて各月1回で、営巣地確認調査については3月、4月に実施ということで、保護指針を踏まえてそういった設定にしております。</p> <p>以上、[ ]の意見を踏まえて御議論いただければと思っております。(事務局 菊地)</p> <p>・ありがとうございます。</p> <p>議論すべきことは3つあるかと思うのですが、1つは、1月～8月まで、繁殖期と言われている時期に毎月連続的に確認すべきということですね。それから、営巣場所を確認して巣の状況を見ていくという営巣地確認調査の時期を4月以降にずらしたほうがよいというお話ですね。それから、9月以降の調査は必要ないのではないかというお話が[ ]から提案されたと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>まず営巣地の確認調査に関しては、私も保護指針を策定するときにかかわっていますけれども、よく鳴く時期といいますか、警戒音を出す時期として3月、4月ということで、その3月をずらして4月からとした場合に探しにくくなるということはありませんか。[ ]</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 今後の調査方針 (案)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査を担当しております生態系保護協会ですけれども、<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>が御指摘のように、一番発見しやすいという意味では、鳴き声と、この指針の中にも示されているのですけれども、3月、4月ですとまだ葉っぱが展葉していないので見やすいということで、営巣地点を確認するという意味では3月と4月が一番効率がいいと思っています。ただ、<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>のここで見ますと、4月下旬、5月、6月に行い、人の影響を受けても造巣・繁殖放棄などを行わないであろう時期に変更したいという趣旨のようなので、今回のこの圏央道沿いについては、先ほども御報告がありましたように、過去から10年以上にわたって営巣地が確認できていまして、新たに見つける上で人の影響が生じて繁殖失敗とかそういうことは想定しづらいものですから、その意味では、発見しやすい時期に重点的に調査したほうがいいのかと思います。(事務局 須永)</li>   <li>・調査を担当されている須永さんからはそういうお話ですけれども。<span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li>   <li>・それは、具体的には3月、4月がいいという意味ですか。ほかは要らないということですか。<span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li>   <li>・営巣地の確認という意味では3月、4月が一番効率的で、その後の4月下旬とか5月、6月、7月は、営巣地の確認というよりも繁殖状況の推移を見るという意味での調査時期としてふさわしいのではないかと思います。(事務局 須永)</li>   <li>・繁殖状況を確認する後段のところに関しては、提案の中では特に項目としてはないのですね。<span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li>   <li>・生息状況調査の中で調査方法を踏査及び移動定点とさせていただいておりまして、この5月以降の踏査手法によって巣での繁殖経過を見ていくつもりで計画はしておりました。(事務局 川崎)</li>   <li>・繁殖行動という。<span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li>   <li>・巣での繁殖推移ですね。(事務局 川崎)</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 今後の調査方針 (案)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容も含まれるということですか。 [REDACTED]</li> <li>・そうです。(事務局 川崎)</li> <li>・(1)の生息状況調査で、調査期間が1月～2月、5月～12月で、3月、4月はなぜ抜くのですか。 [REDACTED]</li> <li>・今回、調査地Aで、営巣地確認調査の実施を予定している3月、4月を除いた時期に各月1回という形で実施しておりましたので、踏襲して計画させていただきました。(事務局 川崎)</li> <li>・この調査で、先ほど言いました圏央道をつくったことによる影響、開通後に巣立ち雛が減っているというのは非常に重要な意味があると思うのですが、本当はふえなければいけない話で、なぜ減るのかということがこの調査でわかりますか。 [REDACTED]</li> <li>・今回の調査につきましては、各調査地の樹林の規模とか地点とか外部からの見え方とか観察視野範囲も踏まえて、相談させていただきながら地点数等を調整しておりますので、繁殖の成否とかその周辺の状況についてはAも実施してきておりますので、その精度では継続可能ではないかと考えております。(事務局 川崎)</li> <li>・その辺がちゃんと出てくれば、今後の対策には役立ちますよね。 [REDACTED]</li> <li>・それ以外に不明な要因とか、御指摘のようにわからない状況があれば、それはやはり御審議いただきながら必要な調査を考えていくべきだろうとは思いますが、現時点では今の計画を事務局案として提示させていただきました。(事務局 川崎)</li> <li>・確認ですけれども、御提案で3月、4月が生息状況調査のところに記述されていないというのは、営巣確認調査の間は飛翔状況とかそういうものは後回しということですか。 [REDACTED]</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 今後の調査方針 (案)</p>	<p>・最優先は、この調査の記録内容にありますとおり、巢の探索と古巢の変化でございますが、これまでも営巣地確認調査の中で飛翔状況とかオオタカの出現状況については記録を併記しています。(事務局 川崎)</p> <p>・変わらずに記録しているということですか。[REDACTED]</p> <p>・はい。(事務局 川崎)</p> <p>・そうすると、その辺がこの記述の仕方だと誤解が出てきますよね。ここの書き方で言うと、1月～12月まで各月見ているということですね。それに営巣地の確認という調査が3月、4月に加わるということですかね。</p> <p>いかがでしょうか。お二人欠席されているので、ここで決めるのもどうかと思うのですが、実際に実施するのは来年1月からの話ですね。そうすると、次回に最終的な結論を出すということでも間に合うのでしょうか。ぎりぎりになりますけれども。間に合うとしたら、今お話を伺っておいて、我々の意見はこれから出しますけれども、最終的な結論は、柳澤委員、鈴木委員が御参加のところで出すということはいかがでしょうか。[REDACTED]</p> <p>・結構です。[REDACTED]</p> <p>・よろしいですか。[REDACTED]</p> <p>・はい。[REDACTED]</p> <p>・ぎりぎりになって事務局は心配かもしれないですけれども。          今日出る意見を柳澤委員、鈴木委員にお話しして、それがご了解いただければ、それはそれでいいと思うのですけれども。          順番が逆になりましたけれども、営巣地の確認調査は、調査していただいている側から見ると、3月、4月にやったほうがやりやすい、正確なデータが得られるというお話ですので、[REDACTED]の御意見とはずれませんが、3月、4月ということでもよろしいですね。          では、我々3人の意見はそういうことだとお伝えください。</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 今後の調査方針 (案)</p>	<p>それから、繁殖期の調査は実施するけれども、今後、非繁殖期の調査はいいのではないか。これに関してはいかがでしょう。9月以降12月までの調査はする必要があるかないかということです。[REDACTED]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事前、工事中との整合性をとるのであれば、やっておいたほうがいいと思います。[REDACTED]</li> <li>・非繁殖期の利用面で変化があるかないか、そういうところを位置づけるということですね。[REDACTED]</li> <li>・はい。[REDACTED]</li> <li>・いかがでしょう。[REDACTED]</li> <li>・それが繁殖に影響するということはあるから、やったほうがいいと思います。[REDACTED]</li> <li>・今の提案に関しては開通後なので、工事の影響というところは、今回のこの部分では…… (事務局 菊地)</li> <li>・前の調査がそのようにしているので、データを見る場合には、やはりやっておいたほうがいいということです。[REDACTED]</li> <li>・竣工後に検証的に、利用が始まった状況とその前とを比較するということですね。提案では9月～12月はやるという前提だったわけです。</li> </ul> <p>そうしましたら、変化をきちんと追うためには同じような精度の調査で比較することが重要だと思いますので、9月～12月は実施するという我々3人の意見ということでお願いします。</p> <p>では、そういうことでよろしいですか。[REDACTED]の御意見に答えたことにはなりますかね。抜けはないでしょうか。大丈夫ですか。今の結論でよろしいですか。[REDACTED]</p>



項目	主な意見と回答
<p>(3) 今後の調査方針 (案)</p>	<p>・今回の審議結果を踏まえまして、開通後の調査については資料記載のとおりということにさせていただきまして、柳澤委員と鈴木委員には本日の議論の内容を報告させていただきまして、その結果については葉山座長に御報告させていただきたいと思っております。(事務局 菊地)</p> <p>・生息状況調査の期間に関しては、1月～2月、5月～12月と分けていますけれども、今のお話だと連続ということに理解しています。その辺は大丈夫ですか。[REDACTED]</p> <p>・生息調査の1月～2月、5月～12月という、その中の3月、4月ということですね。それは同様に実施いたします。(事務局 菊地)</p> <p>・では、そういうことでお伝えください。[REDACTED]</p> <p>・はい。(事務局 菊地)</p> <p>・関連して、今後の方針に関してはいかがでしょうか。何かありますでしょうか。調査地Lに関しては光の問題に関する調査を実施することもあります。よろしいでしょうか。 では、よろしく願いいたします。[REDACTED]</p>
<p>(4) 調査地Lの保全対策等</p>	<p>・それでは、「調査地Lの保全対策等」の御説明をよろしく願います。[REDACTED]</p> <p>(4) 調査地Lの保全対策等 (事務局 菊地)</p> <p>・ありがとうございます。 今までいろいろお願いしていた内容を工夫していただいて実施して、整備が進んでいるという状況ですが、何か御意見はございますか。[REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
<p>(4) 調査地Lの保全対策等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回確認しなかったのですが、砕石敷きの砕石というのは、当然自然砕石ですよ。コンクリート砕石は使っていませんね。■■■■■</li> <li>■■■■■</li> <li>・再生砕石等は使っていません。自然の石を使っております。(事務局 菊地)</li> <li>・ほかのところで、再生砕石を使って外来種が入り込んだところがあったものですから。■■■■■</li> <li>・草本類も、種子採取は在来種ですよ。■■■■■</li> <li>・草本類を予定しているところにつきましては16回会議の中で御相談させていただいております、林ができるまで草本の生育はなかなか難しいので、シードバンク的な形で覆土させていただき予定だと聞いております。(事務局 川崎)</li> <li>・要するに、在来種ではなくて。■■■■■</li> <li>・在来種です。(事務局 川崎)</li> <li>・だったら、ここに在来種と書いてください。樹木のほうは在来種と書いてあって、草本種子の採取は在来種と書いていないので。これはすごく重要なことなのです。■■■■■</li> <li>・こちらは明確に在来になっています。周辺でとっております。(事務局 川崎)</li> <li>・この資料の中に草本ゾーンの写真がありますが、これは上の橋脚までの高さはどのぐらいですか。■■■■■</li> <li>・このあたりは5m程度で、そんなに高くないゾーンでございます。(事務局 川崎)</li> <li>・7～8mぐらいです。(事務局 酒井)</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>(4) 調査地Lの保全対策等</p>	<p>・緑地保全に関しては4名の土地所有者の方が指定を受けられたというお話ですが、これは全体に対して何%ぐらいになるのですか。■■■■■</p> <p>・おおむね半分ぐらいになります。(事務局 菊地)</p> <p>・残りの方はなかなか御了解を得られないのですか。感触として。■■■■■</p> <p>・結構大きく土地を持っておられる方とかに今こういう面積が取れていますけれども、なかなか。(事務局 菊地)</p> <p>・ほかにいかがでしょうか。</p> <p>遮蔽用の植栽等は、先ほど御説明があったように、まだ若木なので見た目にぱっとしないですけれども、フォローしておきますと、若木のほうが活着率が高くて、その土地に合った生育になってくるので、時間をかければよくなると思います。3年お待ちください。もしなければ。—ありがとうございます。</p> <p>項目としては4番までお話をいただいたのですけれども。■■■■■</p> <p>・もう一つ、参考資料のほうで参考資料②というのがございまして、これは調査地Gの遮蔽施設の整備状況について、今年の会議の中でもこういう格好で整備を進めてまいりますということで報告させていただいておりましたが、実際に現地がこういう格好で整備されておりますということの御報告でございます。(事務局 菊地)</p> <p>・遮断施設の歩道側ですけれども、これは歩道があるので少しは明かりをとる必要があるから全面的には塞がれないということだったので、よく見たら、1.9mというのはすごい幅ですよ。人間の高さ以上ずっと遮蔽していないということですよ。■■■■■</p> <p>・この絵の中では、高欄がこの下に1m弱ぐらい。右下の写真ですけれども、1.9mというのが、上の蛇腹のようなあれがあって、その下にずっと。(事務局 菊地)</p>

項目	主な意見と回答
<p>(4) 調査地Lの保全対策等</p>	<p>・この柵はこういう縦の柵ですよ。ということは、これは内側から見ているから何となく遮断しているように見えるけれども、外側から見たら、1.9mずっと空間があいている。[REDACTED]</p> <p>・歩道の路面から1.2mぐらいのところまではずっと高欄が入っています。そのあいている部分が全部で1.9mで、下が1.2mぐらいなので、60～70cmぐらいが本当の開口部という格好になります。(事務局 菊地)</p> <p>・ただ、実際には全部開口されているのと同じですよ。1.9m。一回見てきたいと思っているのですけれども、視覚的に見ると、外側から見たら、1.9mずっと空間があいている状況ですよ。この手すりの部分まで、外側もカバーがされていないでしょう。[REDACTED]</p> <p>・外側からの写真がない状況で。(事務局 菊地)</p> <p>・外側からの写真を撮ると、恐らくずっとすきすきだと思うのです。1.9m分。歩道側のはあくまで手すりですから、多分、縦に柵が入っているだけですよ。外側から見たら、1.9m分空間がある。[REDACTED]</p> <p>・下の左側の断面を見ていただくとわかるように、先生がおっしゃるとおり、両サイドの遮断の施設だと1.9mが空間のように見えると思うのですが、外側から見ると、歩道と車道の間に同じような遮断施設をつくっていますので、真横から見たら全く空間が。歩車境界という。(事務局 塩谷)</p> <p>・こちらはこちらで入っているわけですね。[REDACTED]</p> <p>・そうです。この部分が少し見えているこれです。これになるので、真横から見れば、ここも遮断しているような形に見えるので、全く空っぽで車が見えるということではないです。(事務局 塩谷)</p> <p>・一回確認してきたいと思います。[REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
<p>(4) 調査地Lの保全対策等</p> <p>閉 会</p>	<p>・ほかには何かありますか。[REDACTED]</p> <p>・逆に言えば、歩車境界の図もどこかに入れてくれればよかったですね。[REDACTED]</p> <p>・そうですね。写真の撮り方が下手で、余りわからなかったですね。外側からの角度で見たほうがよかったかもしれません。(事務局 塩谷)</p> <p>・よろしいですか。[REDACTED]</p> <p>・ありがとうございました。</p> <p>あと、本日の議事とは別でございますが、今、調査地Gの御説明をさせていただいたのと、次回の会議のことでございます。昨年度の8月か9月ぐらいだったと思うのですが、上尾道路の2期事業のオオタカに関しても、この会議の中で保全対策について御議論いただきたいということで御説明させていただいて、一応御了解をいただいていたということでございます。今回の会議に先立っての事前レクでも改めて御確認させていただいておりまして、今回欠席されております柳澤委員、鈴木委員についても御確認いただいて、御了解をいただいております。そういうことでございまして、次回の会議につきまして、11月下旬～12月上旬ぐらいの中で、まず上尾2期の事業の概要とかそういったところから御説明させていただいて、オオタカの生息状況等についても報告させていただきたいと思っております。できれば近日中に日程調整をさせていただきまして、次回、11月下旬～12月上旬ぐらいの中で第26回ということで会議を開催したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。(事務局 菊地)</p> <p>・ということです。今後も続きますので、どうぞよろしく願います。</p> <p>これで議事次第に書かれている内容は完了したということで、あと30分ぐらい残っていますけれども、御協力ありがとうございました。</p> <p>お返しいたします。[REDACTED]</p>

第25回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
閉 会	<p>・それでは、本日はありがとうございました。これで第25回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議を終了させていただきます。</p> <p>資料のボリュームが結構ございますので、置いていってくだされば、後日郵送でお送りいたします。</p> <p>以上でございます。ありがとうございました。(事務局 菊地)</p>